

関係団体ヒアリング 市民協働分野（報告）

- 1 日時 令和元年9月12日（木）18：30～20：30
- 2 場所 ランタナ
- 3 団体名 市民協働団体
- 4 参加者 市民協働団体 11名
関係所属 市民協働推進室 2名

合計 13 名



参加者の主なご意見

✿10年前から良くなったこと✿

- ◆ 長崎夜市は、地域だけでやっていたが、現在は様々な市民活動団体もいっしょにやるようになって成功している。
- ◆ 長崎市の「協働」は効果が出ていると思う。

✿10年前から悪くなったこと・最近困っていること✿

- ◆ 18歳以上の障害者が、働くモチベーション、未来への希望をもてるような機会、場所が不足している。
- ◆ 教員が疲弊しているため教員になろうと思う学生が少なくなっている。
- ◆ こどもの遊び場が少なくなっている。
- ◆ 外海地区で、若いお母さんはパートに行きたいが、朝夕に子どもの学校の送迎をしないと行けないので、パートができないという声がある。
- ◆ 4歳以上の子供たちが遊べる場所が少ない。時代のニーズに合った遊び方ができる場所（チームラボの未来の遊園地のようなもの）がない。

- ◆ 観光、まちづくりの市民活動団体は以前活動していた団体がどんどんなくなっている。以前(さるく頃)は、長崎市とよく話をしていた。活動しているうちに、だんだん行政の視点、方向性と実際活動している市民の人たちとの間にズレが生じてきていると感じる。
- ◆ 富貴楼や公会堂など古い建物がどんどん壊されていくのが、残念である。
- ◆ 近所付き合いが下手な人が増えていると思う。

❖これから 10 年間、市にして欲しいこと❖

- ◆ 学校がすべてを担うことは無理がある。市民協働団体や地域が教育現場に関わっていける仕組みづくりが必要。
- ◆ 若者がやりたいことを実現できるような感覚を持てる機会を作って、これからも長崎に残ろうと思えるように取り組んでいくとよいと思う。
- ◆ 学校を開放してほしいが、学校側はリスク等でなかなかできない。行政がそのリスクを除くことができるような支援をしてほしい。
- ◆ 外海地区では小中学校の統廃合があり、子どもたちの通学距離が非常に長くなった。スクールバスがないが、市の中心部と違って合併町は交通の便が悪いので、スクールバスを出すなど、何か対策をしてほしい。
- ◆ 外海地区で空き家バンクをしているが、スクールバスもなく、働く場所もないので、子育て世代を呼ぶのは気が引ける。合併して10年以上経過しているが、合併市町村の市民の意見をもっと聞いてほしい。
- ◆ 公園に古くなった遊具があつたりして、危ない場所になっている。子どもたちが安全に遊べる場所が少なくなっているので、環境を整える必要がある。
- ◆ 子どもたち自身が参加する場所や意見を言える場所を作るとよいと思う。
- ◆ 高齢化に合わせて、公園は子供のための公園から、高齢者のための公園になることも必要と思う。
- ◆ 広い公園は管理が大変で不要となる可能性もある。住民にアンケートをとる等して本当に使える公園に変える必要がある。
- ◆ 子どもたちが遊べるように、水辺の森に遊具を設置してはどうか。
- ◆ 行政の言う「協働」は、「市がしたい方向性のものを、してくれる団体とする」というものではないか。職員は協働というものをどう考えているのか。一度立ち返って考えてほしい。
- ◆ 市の職員は定期的に異動してしまうので、適正・情熱があり、関係する市民の人もいてほしいと思うような人は、希望を出してその職場に10年ぐらい留まる仕組みができればよいと思う。
- ◆ 「協働」といってもいっしょに事業をしなくてもよいと思う。自分たちが何かをする時に市の職員がいっしょに来てくれたり、何かをしてくれるだけで、市民は安心する。後ろを押してくれるだけでいい。
- ◆ 市の職員でも自分たちの自治会の活動を知らなかったりする。問題意識がないから協働といっても始まらない。職員に地域に住むとはどういうことか、教育するようになってほしい。
- ◆ プライバシーや騒動といった問題もあると思うが、救急車のサイレンは鳴らすようにしてほしい。救急車が来て、近所で心配をしたり、何かしら手助けしたり等、地域のつながりを持つことができる。

- ◆ 個人情報問題により、自治会をブロックするマンションがある。一人住まいの高齢者がいても自治会で把握できない。マンションも増えていくので、市として考えていく必要があると思う。
- ◆ 小学校や中学校で命の授業をする必要がある。若者に教育をすることで親にも波及していくと思う。
- ◆ 市民や団体の話を常に聞くシステムを作る必要があると感じた。
- ◆ 「まちづくり」は手段であり、目標ではないと思う。「まちづくり」という手段を使って理想の「まち」を作るというものなので、それが基本施策という一つの目標になっているのは、疑問がある。また、無理に目標を作って職員が動いているような気がする。今ある課題を見つめてそれに対する目的・目標があるはずなのに、逆になっていると感じる。第5次総合計画では参考にしてほしい。
- ◆ 市民活動団体同士のネットワークが作れていない。市民活動団体同士で連携したときに、目的がいついしょでもニーズが違うこと等により、大きなトラブルが起こることがあるので、市が潤滑油となって間に入ってほしい。
- ◆ 市がアンケートをした際には、フィードバックしてほしい。
- ◆ 市で空き家の土地を買って、高齢者用のビルを建設してほしい。ビルの1～2階に銀行や映画館、スーパーを入れて若者と高齢者が自然に交流できるようにしてほしい。
- ◆ 長崎のインフォメーションの掲示が非常に少ない。ロープウェイに行くまでの動線が弱い。モノレールを長崎駅まで引っ張って来るようできないか。
- ◆ 防災無線が聞こえない地区が何か所もあるので、対策をしてほしい。
- ◆ 子どもたち自身が、主体者になって生み出して楽しむということが、大きくなった時に観光や自治会の問題をどうするか等とエネルギーの根っこになってくると思う。公園を整備して、自分たちで作っていけるような、プレイパークを作るとよいと思う。
- ◆ 市で課題であることが、大学生が手伝うことでできるかもしれないので、大学生に聞いてみるのもいいのではないかと。

✿これから 10 年間自分たちでしたいこと✿

- ◆ 災害の際に、若い人は SNS があるからいいが、団塊の世代等 SNS が使えない人が多いので、自治会と繋がっておく必要がある。自分の活動している団体で、行政と連携しながら、自治会とつながるよう、伝えていきたい。